

都留市商家資料館便り No. 2

平成 29 年 12 月 10 日
作成 商家資料館
館長 武井邦夫

都留市有形文化財指定 平成 5 年 1 月 1 8 日 入館料無料

開館日時：火・木・土・日・祝日 午前 1 0 時より閉館午後 4 時入館は午後 3 時までをお願いします



大正 5 年から大正 1 0 年、6 年かけて建てられました



この大額は、織物協同組合にあったもの見事な額です



平入りの玄関、大正時代のロマンを感じます



8 枚の千本格子当時を偲べます。茶の間側の裏は障子です



床柱は鉄刀木（たがやさん）という固い木が使われています。



これは組子といいまして、付け書院の障子と、欄間で一對になっています。名工並木の庄ちゃん作とか。



四尺の廊下にガラス、すきガラスがゆがんで見えます。



仁科家で使われていた金庫です。



仏間・応接間のドア樫の無垢に細工されています



応接間の間接照明です。当時珍しい電気器具



仏間・応接間の色ガラスです



当時の石炭ストーブです



斜め格子の障子大変珍しいです

編集後記　今回は写真で見る資料館の様子を記載しました。まだ見てもらいたい戸袋・のき先・部屋の天井に張られている屋久杉。二階の床柱の黒柿等様々あります。又、なぜ郡内縞（甲斐絹）が盛んに織られたか考えて見るのも楽しいですよ。重たい雨戸を締めたり開けたり、体験してみませんか。斜め格子触って見るのも楽しいと思います。二階から裏山を望むのも四季折々の楽しさがあります。都留市の町を歩たり館内の様子を俳句に認めて見ませんか皆様のお越しをお待ちしています。

館長 武井邦夫